

# 2022年度版 株式会社エスカ 環境活動レポート

## 1. はじめに

株式会社エスカは、昨年12月に開業50周年を迎えました。当社は開業以来、多くの方々に支えられ、経済・社会環境の変化に伴う様々な課題に取り組んできましたが、現在は、今日的な課題であるSDGs・環境問題にも積極的に取り組んでいます。

当社は次の50年に向け、地域社会やテナントなどのパートナーと連携しつつ、人に愛される街づくりを目指し、次世代を担う子供たちのために、気候変動対策など地球環境の保全に貢献していきたくと考えています。

## 2. 環境に関する経営理念・方針

### (1) 環境理念

#### ◇地球環境の保全

次世代のため、気候変動対策など地球環境の保全に貢献していきます

#### ◇安全・安心・快適の向上

人にやさしい愛される街づくりを目指します

#### ◇地域社会・パートナーとの連携

地域社会やテナントなど全てのパートナーとともに環境との共生を図ります

### (2) 環境方針

#### ◇環境負荷の軽減

エネルギー消費量や廃棄物を削減し、使用資源の無駄を省いていきます

#### ◇啓発活動・情報提供

SDGsに関連したイベント開催等の啓発活動に努めるとともに、ホームページなどを通じた情報発信を図ります

#### ◇環境教育

社員の環境意識の向上に努め、環境保全に向けた社員の自発的な行動を促進していきます

## 3. 事業所の概要

### (1) 会社概要

①会社名	株式会社エスカ
②所在地	愛知県名古屋市中村区太閤三丁目1番18号 名古屋KSビル12階
③資本金	480百万円
④施設面積	29,180㎡（地下街・駐車場等）
⑤従業員数	21名（含む常勤役員）
⑥事業の内容	地下街店舗賃貸・駐車場・不動産賃貸事業
⑦沿革	会社設立 1964年9月15日 地下街・駐車場開業 1971年12月1日

### (2) 担当者等

①担当者氏名	佐野 博章
②環境責任者氏名	檜垣 浩

#### 4. 環境に配慮した取組の状況

##### (1) これまでの取組

- ・当社はこれまで、温室効果ガス排出量の削減を中心に環境問題に取り組むとともに、SDGsに関連したイベントを地下街で開催するなど、SDGs・環境問題に関する啓発活動に努めてきました。

##### ①温室効果ガス排出量の削減

###### (i) 目標

温室効果ガス排出量（原単位排出量）：前年度対比削減すること

###### (ii) 実績

年 度	温室効果ガス排出量	温室効果ガス排出量	削減率
基準年度（2007年度）	0.1759 t-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup> ①	（2017年度からの 5年間平均）	（（①－②） / ①） × 100
2017年度	0.1488 t-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>		
2018年度	0.1443 t-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>	0.1353t-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup> ②	23.1%
2019年度	0.1417 t-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>		
2020年度	0.1191 t-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>		
2021年度	0.1223 t-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>		

- ・当社は従来より、温室効果ガス排出量の削減に向けた目標を「前年度対比削減すること」とし、様々な取り組みを行ってきました。その結果、2007年度排出量と直近5年間の平均排出量を比較すると、23.1%の削減となっています。
- ・当社の温室効果ガス排出量の特性として、地下街の営業状況や来街者の状況に大きく左右されます。
- ・具体的には、コロナ禍により地下街の休業を余儀なくされた時期があり、来街者も大きく減少した2020年度は排出量も大きく減少しています。また、2021年度は前年度に比べるとコロナ禍の影響が若干改善したため、排出量は増加していますが、コロナ前の水準（2019年度以前）に比べると未だに大きく減少しています。

###### (iii) 取組内容

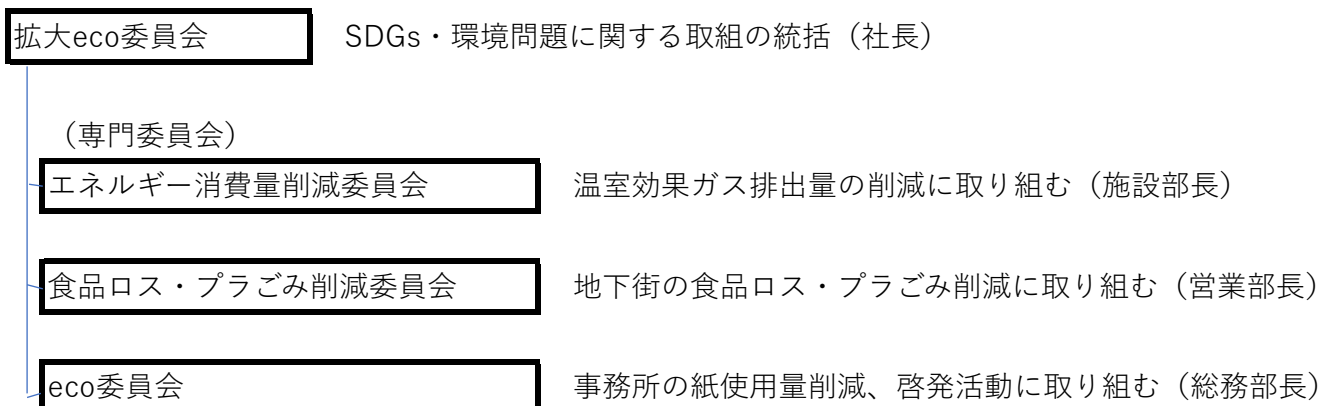
具体的な取組内容	取組の目標	実施状況
・地下駐車場の照明器具をLED器具に更新	全て更新する	実施済
・地下街通路照明の一部（水銀灯・蛍光灯）器具のLED器具への更新を実施する	随時更新する	対象となる照明機器の4割更新
・中間期における外気冷房を積極導入する	3～5月、11～12月は外気温	期間中の8割で
・政府推奨温度維持の徹底	20°C以下で外気冷房実施	外気冷房実施
・使用していない部屋の照明は消灯する	随時実施	実施
・長時間使用する送風機等のベルトは省エネタイプとする	随時実施	5割を実施
・日常的なエネルギー使用状況を把握し、定期的な分析を実施する	年度ごとにエネルギー使用状況をまとめ、分析	実施
・トイレ衛生器具節水装置の導入	実施	実施
・空調機冷温水ポンプ、インバーター周波数制御の導入	実施	実施

## ②SDGs関連イベントの開催

- ・SDGs・環境問題に関する啓発活動の一環として、子供たちを対象としたイベントやワークショップを開催しています。
- ・具体的には昨年の夏休みには「SDGsスタンプラリー」、冬休みには「クリスマスリース作りのワークショップ」、今年の春休みには「古着回収」と「SDGsスタンプラリー」を開催しています。

## (2) 社内体制の見直し

- ・昨年の開業50周年を機に、SDGs・環境問題への取り組みを本格化すべく、下記のとおり社内体制を見直し、新たに食品ロス・プラごみの削減や本社事務所等の紙使用量削減などへの取り組みを開始しました。



（注）カッコ内の肩書は責任者

## (3) 新たな目標設定と取組内容

- ・SDGs・環境問題に関する新たな社内体制のもと、今年度より新たな目標を設定し、取り組みを強化しています。

### ①温室効果ガス排出量の削減

#### (i) 目標

**温室効果ガス排出量（原単位排出量）： 0.1132 t-CO<sub>2</sub>/㎡（2024年度目標排出量）**

- ・従来からの目標である「前年度対比削減すること」を維持しつつ、別途取り組んでいる「地球温暖化対策計画」では、今年度から3年間の目標として上記の目標を掲げています。
- ・上述のとおり、当社の温室効果ガス排出量は地下街の営業状況により大きく左右されることから、コロナ禍の影響のなかった2018年度を基準年度とし、「毎年1%の削減」を目標としています。
- ・2018年度の排出量を2021年度の排出計数で算出すると「0.1204 t-CO<sub>2</sub>/㎡」となるため、2024年度の目標は「2018年度実績を2024年度までの6年間で6%削減する水準」としています。

#### (ii) 取組内容

具体的な取組内容	取組の目標
・地下街通路照明の一部（水銀灯・蛍光灯）器具のLED器具への更新を実施する	・地下街共用部の蛍光灯をLEDに更新する （2022年度より3か年計画で実施）
・中間期における外気冷房を積極導入する	・3～5月、11～12月の中間期は外気温が20℃以下の場合に外気冷房を実施する
・使用していない部屋の照明は消灯する	・随時実施する
・長時間使用する送風機等のベルトは省エネタイプとする	・随時実施する
・日常的なエネルギー使用状況を把握し、定期的な分析を実施する	・年度ごとにエネルギー使用状況をまとめ分析する

## ②食品ロス・プラごみの削減

- ・食品ロス削減に向け、「名古屋市食べ残しゼロ協力店」への登録を飲食テナントに推奨しています。  
(新たに20店舗が登録済)
- ・店長会などを通じ、テナントの皆さんに地下街の古紙・生ごみの排出状況をお伝えし、ごみ分別の重要性やプラスチック資源循環法により求められる措置などを説明しています。

## ③用紙使用量の削減

- ・「来年3月の事務所での紙印刷枚数を前年度比3割削減する」ことを目標とし、以下の取り組みを行っています。
  - ・オフィスパソコンのノート化等により、紙印刷しなくとも不便のないオフィス環境を整備する
  - ・印刷習慣の見直しに関する啓発活動を行い、「とりあえず印刷する」との意識の見直しを図る

## ④SDGs関連イベントの開催

- ・昨年度に続き、夏・冬・春の各長期休暇期間中に、子供たちを対象としたワークショップ・イベントを開催します（夏休みには「選べる工作ワークショップ（うちわ、風鈴、段ボールアート）」を開催済み）

## 5. お問い合わせ先

株式会社エスカ

住所：名古屋市中村区太閤三丁目1番18号 名古屋KSビル12階

電話：052-452-1181

※当社の取組を詳しくお知りになりたい方は、当社ホームページをご覧ください。

<http://www.esca-sc.com>